

2019.2.22(金)～24(日) 未来へつなげたい かごんまの色展

# かごんまの色\* 総選挙

\*かごんまの色 は商標登録出願中です。

あなたの「未来へつなげたい かごんまの色」は何色ですか？

色は、あらゆる場所に存在し、私たちの生活空間を構成しています。  
また、特定の感情、記憶、行動を喚起させ、文化形成にも影響を及ぼします。

もし、鹿児島県らしいモノ・コトが、他の地域とは異なる特徴的な色を持っているなら、  
その色は、かけがえのない地域資源であるとともに、  
鹿児島県らしさを構成しているのではないのでしょうか？  
その色を様々なものに活用すれば、  
言葉で説明するのではなく、感性に訴えるような鹿児島県らしいデザインができるのではないのでしょうか？

私たちは、自治体や企業など様々な方の協力をいただいて、  
鹿児島らしいモノ・コトから138色の「かごんまの色」を3年かけて集めました。

当日は、かごしまデザインフェア2019にお越しのみなさんで「かごんまの色」総選挙を行います。  
いつまでも大切にしたい、これからも守っていききたい、  
あなたの「未来へつなげたい かごんまの色」は何色ですか？  
インスピレーションや色の名前などを参考にして、自由に選んでみてください。

みなさんの投票をお待ちしています。



投票結果は集計後、鹿児島大学ホームページで公開予定です。デザインなどにご活用ください。

## ■研究者紹介

**牧野 暁世** Akiyo Makino

鹿児島大学 産学・地域共創センター 特任助教



2010年 日本学術振興会 特別研究員（～2012年）。

2013年 名古屋大学大学院 環境学研究科社会環境学専攻 博士課程後期課程修了。  
岐阜県で地域ブランディングのための合同会社を設立。

2015年 愛知県豊田市景観アドバイザー（色彩）。

2016年 現職。現在に至る。地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）担当。  
日本学術振興会 科学研究費助成事業にて「かごんまの色」の研究を開始。

専門は色彩学。研究テーマは色彩を通じた地域ブランディング。

著書「色彩センスを磨くバーコード配色」（共著）、主な論文「地方創生のための鹿児島の『黒』を活用したカラーブランディングの検討～鹿児島の黒リストの作成～」(日本色彩学会誌 41(3+), 74-76、

2017) などがある。日本モビリティ・マネジメント会議デザイン賞（2009年）、WHO（世界保健機関）グッドプラクティス賞（2010年、共同）、名古屋大学総長顕彰（2011年、共同）受賞。

## ■お問合せ先：

牧野暁世 環境色彩学研究室（鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学 産学・地域共創センター 連携推進部門）  
plus05@gm.kagoshima-u.ac.jp / 099-285-6487（代表）